

進路だより

鶴見養護学校
地域連携グループ進路係
No.9
平成31年2月27日発行

暖かさを感じられる日が増え、少しずつ春が近づいてきています。平成30年度も残り1か月となりました。進級、進学、卒業と新たな門出の前に1年を振り返ってみてはいかがでしょうか。

さて、今月の進路だよりでは、わくわくwork day、校内実習、事業所見学などの様子をお知らせいたします。



わくわく work day ・ 進路講演会 & 意見交換会

1月26日(土)、鶴見養護学校本校でわくわく work day が開催されました。午前中は体育館で、高等部の生徒が作業学習で制作した製品や農園芸品、学習の様子を見ていただきました。また近隣の福祉事業所4か所による、パンや和菓子、肉まんや大根の販売会も行われました。ヨットの広場前では分教室の生徒たちによる「つるみカフェ」がオープンし、淹れたてのコーヒーやフルーツティーなどが振る舞われました。本校の卒業生が販売している姿は生徒たちにとっても良い刺激になったかと思えます。

午後は障害者雇用を推進されている、株式会社日立ゆうあんどあいの業務部支援担当 担当部長の小谷様が来校され、進路講演会と意見交換会が開かれました。企業での取り組みや、職場で求められる力、学校や家庭で今できることなどについてお話をいただきました。参加された保護者からは“ついつい親の勝手な思い込みで出来ないと思ってしまう部分が多々あるので、家庭でできることを参考にして、子どもの自立する力をつぶさないようにしたい”“卒業後の進路についての心構えや生活環境など家庭でしておくべきこと等聞くことができて良かったです”といったコメントをいただきました。



高等部 1 年 校内実習

2月4日～15日の9日間、高等部1年生は校内実習がありました。赤・青・黄・緑の4つの工場にわかれ、日々仕事に取り組みました。赤はボルトナットの組み立て、箱折りなどの受注作業、青はTシャツのプリント刷りの受注作業、黄はメモ帳製作、緑はペットボトルのリサイクルを行いました。初めての实習で戸惑う様子も見られましたが、終わったところには達成感や充実感が得られたようです。ここで学んだことを今後活かしていきたいと思ひます！

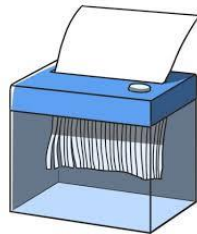


高等部 1 年 保護者事業所見学

現在、1年生の保護者を対象にした事業所見学を実施中です。企業2か所、希望の上がった福祉事業所に進路担当と一緒に見学に行っています。

実際に初めて見学をした保護者の方からは、「保護者会があるのが少し不安」「先輩たちが落ち着いて作業している、我が子は同じようになれるのか」「企業の考え方が分かった、こんな会社で働かせたい」「同じ就労継続支援B型や生活介護の事業所でも、それぞれ雰囲気が違う」といった感想が挙げられています。

卒業後、どんな環境・働き方が本人にとって過ごしやすいのか、考えながら見学してもらえるとよいと思ひます。



進路のつぎやき

神奈川県最低賃金をご存知でしょうか？最低賃金は毎年10月1日に地域ごとに改定されます。神奈川県は、平成30年10月より27円アップの**983円**に改定されました。ここ数年では毎年25円以上、上がっています。

「時給が上がる」という言葉だけを聞くと、なんだかうれしい気持ちになりますが、逆に採用する側としては「賃金に見合った人材を雇用したい」と考えることもあるそうです。企業の方に求める人材は？とお伺いすると、「ルールや時間が守れる」「毎日休まず働ける」などが必ずと言っていいほど挙げられます。

“仕事をする力”以前に、体調管理や規則正しい生活はできているか？遅刻せずに学校に登校できているか？など、“きちんと生活する力”を、在学中に少しずつ身につけていけるよう一緒に取り組んでいきましょう！